

どのような想いを持って臨もうとしているのか。また、まちづくりは地域の文化を創出していくものであり、そういう観点からも文化を大切に考えていく想いを強く持つべきであると考え、その決意、想いはどうか。また、教育は聖域であるという考えを持ち、教育委員会を支えながら手厚い施策を講じるよう望むが、考えはどうか。

▲環境行政に対してどのような想いを持って臨もうとしているのか。特に、共生、ワイズユースという概念に対する考えはどうか。

荒木勝美 (市長)

政治姿勢について

▲環境行政については、本市の将来都市像を目標に、良好な自然と歴史景観、生活環境を保全し、環境と共生したまちづくりを進めたい。共生、ワイズユースという二つのものとともに、本市の環境を考えていきたい。

●将来都市像である「地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市」の実現に向け、既に前期基本計画、あるいは実施計画により進んでいるわけであるが、これらを見直す考えはあるか。また、基本計画について、この点だけは変えたいというものがあるか。

また、教育は、一人ひとりが生まれ、育つ過程において、本市が担う最も大事な部分である。学校関係者、親、地域とよく連携を取り合いながら取り組んでいきたい。

▲ウエルサンピア岡山は、大型の集会場や県内屈指の



ウエルサンピア岡山

見直しを行わない。実施計画については、今後のローリングの中で見直しを行っていきたい。

●総合計画の基本計画については、個別の案件について記載したものではありません。大きく総社市の求める方向、またはあるべき姿を記載したものである。私の政策を実行する上で問題がないことから

片岡茂夫 (市長)

平成19年「市民の声」アンケート結果について

●市民アンケートの結果を見て、どのように思うか。身近な市民

▲ウエルサンピア岡山は平成22年度までに一般競争入札で売却をされると聞いています。地域活性化の拠点として非常に大事な施設であることから、今後できる

▲松くい虫の被害により、市内の山林に枯れ松が多く目立っているが、松を守る対策については、環境汚染や生態系の保護の面から薬剤の空中散布を中止して

服部剛司 (市長)

市長の政治姿勢について

●提案説明の中で、地域密着主義でやる、弱い人の立場に立つ、日の当たらないところに目を当てていくと言われているが、どのような政治スタイルをもって行政を担当するのか。市政を変えたいと言われているが、何をどのように変えるのか。

●第一次総社市総合計画は、市長の考えと違うことが多く書いてある。これを変えないと本市の行政は変わらないと思うがどうか。

施政方針について

●平成20年度予算編成に当たり、弱者や辺地に対する地域格差の是正のためにどのような予算編成にするのか。

渡邊繁雄 (市長)

市長の政治姿勢について

このほか、国・県に対する市長の考え方について質問をしています。

●広域医療体制を実現すると言われているが、具体的にどうしようと考えているのか。

●第一総社市総合計画において、私の考えと合致しない部分について一度洗い出し、個別に検討



高梁川新架橋現場

が、企業を誘致する用地がない。用地の確保にどのように取り組んでいくのか。また、岡山市が吉備線のLRT化に取り組んでおり、本市も早急に取り組む必要があると思うがどうか。

▲企業誘致については、市街化区域内の用地の確保が困難なことから、市街化調整区域内の工場跡地を仲介しながら誘致を進めており、当面はオーダーメイド方式で取り組んでいく。LRTについては、国、県、岡山市と連携を深めながら前向きに検討していきたい。

●新架橋については、前の市政で議決され、設置主体が市で事業が進んでいるが、新架橋が必要かという声もある。来年10月を目途にもう一度見直しの場を設けたい。大型プロジェクトの見直しは、新架橋と清音生涯学習センターを考えている。(市長)